

# 東京都×東京医科歯科大学

## 東京都 特別対談 東京医科歯科大学



東京医科歯科大学  
吉澤靖之 学長  
Yasuyuki Yoshizawa

東京都  
小池百合子 知事  
Yuriko Koike

# 都と大学で東京を起点にした健康長寿社会の実現を目指す

東京医科歯科大学は、東京都との間に「創薬・医療系オープンイノベーションに資する大学保有機器等の共用に関する協定」を締結した。都内で創薬・医療分野の研究開発を行うスタートアップ企業や研究者の研究を後押しすると同時に、オープンイノベーションを通じた健康長寿社会の実現を目指す。ここでは協定締結を機に吉澤学長と小池都知事の対談を実施。東京都が目指す未来の医療について意見交換をする貴重な機会となった。

### 東京都との協定締結で 拓く医療研究

**小池** この締結を契機に、創薬・医療分野に強みを持つ東京医科歯科大学の機器とノウハウを活用できることは、都民にとっても非常に喜ばしいことです。新たに研究が前進し、好循環が生まれることを大いに期待しています。

**吉澤** 本学は、2018年にオープンイノベーション機構を立ち上げました。これから本格的に産学官連携を推進するときに東京都と協定を結ぶことにとっても感謝しています。近年は学内の研究環境の整備に特に力を入れていきます。この環境を学外の研究者やスタートアップ企業に提供して一緒に取り組むことは社会貢献にもなりますし、新しい知的財産の創生にも繋がると考えています。

**小池** 今や研究開発は世界規模での競争に発展しています。健

康であり長生きすることは人類にとって最大の欲求のひとつです。疾病を抱えている方だけでなく、誰もが豊かな生活を送れるように、一緒に進めていきましょう。

### 医療ビッグデータの活用に向けて

**吉澤** 本学は、医療データの利活用に向けた取り組みを推進しています。2018年に設置した統合情報機構では、IT専門人材の採用やITインフラ整備などを進めてきました。IoT、ビッグデータ、ロボティクスなどを活用した先制医療を先導する人材育成を目的とした大学院改組を行い、新たに先制医療理工学コースと先制医療学コースも開設しています。2020年度にはMDデータ科学センター（仮称）を立ち上げ、将来はメディカルデータサイエンス学部（仮称）の設置を視野に入れています。  
**小池** 東京都が進める将来の超

高齢社会に向けた様々な構想の中でも、健康寿命を延ばす取り組みは特に重要です。その1つとなるのが医療ビッグデータの活用で、都立病院や公社病院をはじめ、様々な病院に健診や受診に訪れる多くの高齢者の情報も貴重なビッグデータだと考えています。

そのような中、東京都では「Society 5.0」社会実装モデルのあり方検討会」で、ウエルネス分野の施策展開の方向性を議論しているところです。都民の健康維持に寄与することにとどまらず、経済の活性化にも繋がると期待しています。貴校は、データサイエンスに関する人材育成に積極的に取り組んでいる貴重な大学なので、より一層の協力をお願いします。

**吉澤** 私たちが構築しようとしているビッグデータには、遺伝子データのみならず、気候変動による疾病構造の変化、東京五輪をきっかけとした感染症リス

クなど、あらゆる要因を盛り込む予定です。そこに個人の生活スタイルを加えてAI解析することで、一人ひとりに最適な新しい医療システムを実現させることが狙いです。

### ベンチャー創出を 支援する仕組み

**吉澤** オープンイノベーション機構を通じて産業界の様々な企業と共創し、製品や情報を生み出す大学発ベンチャーを創出したいと考えています。そこで生まれた利益を基礎研究の原資として、さらに新たな研究シーズや知的財産を生み出し、次のイノベーションへと繋げるといった好循環を作り出すことが、オープンイノベーション機構の目指すところです。

本学は、文部科学省の「データ関連人材育成プログラム」事業に採択され、慶應義塾大学や東京理科大学、東北大学、がん研究会などの研究機関、および製



2019年7月16日に協定を締結した

薬等の21企業と「医療創薬データコンソーシアム」をスタートさせました。ここからも様々な可能性が広がると考えています。

**小池** 東京都では、2018年度から「Blockbuster TOKYO」というプロジェクトを始動して、医療技術開発や創薬を手掛けたいと考えるベンチャー企業や研究者を支援しています。オープンイノベーションを推進するため、柔軟な発想でユニークなシーズを生み出す大学の役割がますます大きくなっています。昨年度のプロジェクトには貴校の研究

# 東京都×東京医科歯科大学 都民の健康・医療を守る連携事業

東京医科歯科大学は、東京都との連携事業として「創薬・医療研究支援」「子育て支援」「医療政策支援」を推進している。都心の大学病院として、東京都民が健康で安心して暮らせる医療環境の構築を目指す。



## 連携事業 1

### 【創薬・医療研究支援】

#### 大学保有機器類の共有でベンチャー支援

東京医科歯科大学と東京都は「創薬・医療系オープンイノベーションに資する大学保有機器等の共有に関する協定」を締結した。東京都内で創薬・医療分野の研究開発を計画しその事業化を目指す中小企業(今後事業所を構える計画のある者を含む)等に対して、東京医科歯科大学が保有する機器等を共有することで、創薬・医療分野のオープンイノベーションの促進に取り組む。

共用する機器類は、透過電子顕微鏡、マイクロフォーカスX線CTシステムなど約50種に及ぶ。この取り組みを通じて、ベンチャーや研究者等の研究シーズの実用化に向けた後押しをする。

## 連携事業 2

### 【子育て支援】

#### タイプ別の情報提供で育児ストレスを軽減

東京都との連携事業として東京医科歯科大学が実施している「けんこう子育て・とうきょう事業」は、母親の妊娠届の情報(年齢や職業、家族構成など)を用いて、「あなたの赤ちゃん」に合った具体的な子育てコンテンツを提供することで、育児スキルを高め、ストレスを減らし、親子の満足感を高め、結果として虐待を予防することを目的としている。

この事業で東京医科歯科大学は妊娠届の情報に基づくタイプ分けのアルゴリズムおよび子育てコンテンツを作成。2019年度はモデル自治体での実施準備、コンテンツ開発を行い、来年度以降はモデル自治体の両親学級や訪問事業を通じて母親、父親に情報提供することを予定している。

産後うつへの減少、育児が楽しいと思う割合の増加などのエビデンスを示すことで、東京都の母子保健事業として全ての自治体に展開することを目指している。

## 連携事業 3

### 【医療政策支援】

#### 地域医療政策の寄附講座を設置

東京都には全国86の特定機能病院のうち15施設が集中し、全国から多数の患者が流入する一方で、医療資源の乏しい島しょ部が含まれる特殊な地域課題を抱えている。そうした現状を踏まえ、2019年度、東京都とともに地域医療政策の寄附講座を設置した。

この講座では、構想区域の実情に応じたデータの整理や論点の提示などを支援する「地域医療構想アドバイザー」の役割を担う。併せて、地域医療構想や医師の確保、外来医療の提供体制、東京都の保健医療施策の進展に向けた調査・研究に取り組み、東京都と共同して医療提供体制のあり方を検討する。

成果を基にして生まれた有望なベンチャー企業が参加しています。行政と大学が連携することで、創薬系ベンチャーや起業を目指す研究者に対して、運営や資金調達など様々な支援を活発化したいと考えています。

**吉澤** 本学には、医学部附属病院と関連病院を合わせて1万床以上のベッドがあります。ベンチャー企業が生み出した成果を基に、臨床試験なども共同で進められるとよいと思います。

#### 2020年に向けた医療体制の構築

**吉澤** 本学の医学部附属病院は東京オリパラの支援病院です。IOCのメディカルチームによる視察ではとても高い評価でした。将来に向けて国際医療部という新しい部門を設置して、多言語に対応できるような医療環境の整備も進めている段階です。

**小池** 東京五輪の開催期間中には、アスリート、観客、応援団

など、様々な人が世界中から日します。猛暑日や熱帯夜などの暑さ対策、急病人の搬送など、課題は多数あります。現在は、医師会をはじめとする皆さまにご協力いただきながら準備を進めています。例えば、競技会場やマラソンルート近隣の医療機関に対して、急病人の対応をお願いするなど具体的に動き出しています。

**吉澤** 本学の医学部附属病院はERが充実しており、救急患者さんの受診が多く、すでに外国からの患者さんも増えています。一方で、医療費の未払いも増加している残念な事態にも陥っています。このようなケースはますます増えることが予測されますが、東京都として何か対策はないのでしょうか。

**小池** 世界では保険という概念を持たない国や人が多いと言わざるを得ません。そこで東京都では、3千円で都営地下鉄、東京メトロの72時間乗り放題チ

ケットと都バス一日乗車券、500万円までの医療に対応した旅行保険がセットになった「TOKYO STARTER KIT」という企画乗車券の発売を始めました。医療機関の紹介や通訳サービスなども含まれていて、万一のときにも安心です。

**吉澤** それは素晴らしい企画ですね。安心しました。

**小池** 保険についての知識がなく来日する人も多いので、しっかり周知していく必要があります。翻訳のためのタブレット端末の導入など院内の体制を整えるための医療機関への支援、宿泊施設に向けた外国人患者対応マニュアルの作成など、大会期間中の外国人対応についても準備を進めています。東京医科歯科大学とも連携していければと考えていますので、どうぞよろしくお願ひします。

**吉澤** こちらこそよろしくお願ひします。今回は貴重な機会をありがとうございます。B